

# ASK レポート

No.0032

2015年8月10日(月)

担当：MS事業部 玉井

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

## 中東安定化にむけて

### はじめに

正論懇話会 名古屋にて、東京大学名誉教授で、フジテレビ特任顧問の山内昌之氏の話をお聴きしました。講演のテーマは「イスラム国と日本」です。

### 人工的な国境線が火種

アラブの春にはじまり、イスラム国の台頭で、いまやイラクとシリアの国境線はなくなったそうです。

過去の歴史により中東は、人工的に国境線を引かれました。山内氏は「アラブ人の人工的に引かれた国境線に対する不満が内戦、戦争という形で表れた。テロ、内戦、戦争というかたちで世論にアピールしている。」それがイスラム国へと発展していったと解説していました。



### 中国の動きに注意する必要がある

山内氏は、中国の中東に対する動きに注意しなければならないと指摘していました。あまりニュースでは取り上げられませんが、中国は中東に接近するため、色々な手を使っているようです。

現在、エネルギーを最も必要としている国は中国です。将来のエネルギー確保のために、中東は重要な地域に位置付けられています。自国のエネルギー確保だけでなく、他国（日本）へのダメージのため中東に接近し、牛耳りたいという狙いがあります。

### おわりに

山内氏は、「中東の安定化のため、日本は非軍事分野でテロや戦争をなくす国際的努力に貢献すべきだ。」と主張しておりました。

国際協力をして、エネルギーの安定性も確保しなければならないと講演をお聴きして考えました。